

「持続可能な地域づくりECOプラン - 西宮市地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編） - 」
 について提出されたご意見等の概要とそれに対する市の考え方

平成22年1月29日から平成22年3月1日までの期間で実施しました意見提出手続（パブリックコメント手続）に基づく意見募集について、お寄せいただいた意見の概要とそれに対する市の考え方を取りまとめました。

意見提出者： 15名
 （内訳）男性13名 女性：1名 不明：1名
 30歳代：1名 70歳代：2名 不明：12名
 本庁地域：1名 鳴尾地域：3名 瓦木地域2名 甲東地域：2名 不明7名
 会社員：2名 自営業：1名 公務員：1名 無職：1名 不明：10名
 メール：14名 FAX：1名

意見件数： 21件

項目1 計画の基本的事項について

番号	ご意見の概要	件数	市の考え方
1	政府の温室効果ガス削減目標（2020年に1990年比25%削減）の具体的な内容が決まらないうちに、西宮市の計画を策定する必要はあるのか。	2	地球温暖化対策は喫緊の課題であり、本市としては早急に温暖化対策に取り組むべきと考え、策定しました。本文P.26にもあるとおり、今後、国の動向を注視しつつ、社会情勢の変化等がありましたら、適宜見直しを検討します。

項目2 温室効果ガスの削減目標について

番号	ご意見の概要	件数	市の考え方
1	2020年度温室効果ガス削減目標10%（1990年度比）は低すぎるのではないか。	3	本計画の2020年度削減目標10%（1990年度比）は、西宮市内全域で考えられる、あらゆる温暖化対策を掲げ、その対策を実施した場合の温室効果ガス削減量を積み上げることにより設定しました。 本市の2007年度の温室効果ガス排出状況は1990年度と比べると1%の増加に留まっており、国全体の増加率（9%）よりも割合は低くなっています。これは、今までの市民・事業者の皆さまの環境への取り組みの成果と考えています。また、市域外での排出量取引制度などを考慮していないことを踏まえ、また、本計画の温室効果ガス削減目標値10%は決して低くないと考えます。 なお、本計画の将来推計値は計画策定時の最新データである2007年度の電気の排出係数を使用しています。電気の排出係数の変化を考慮した場合には、参考資料として本計画に追加いたします。

「持続可能な地域づくりECOプラン - 西宮市地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編） - 」
 について提出されたご意見等の概要とそれに対する市の考え方

項目 3 目的の実現に向けて実施すべき事項について

番号	ご意見の概要	件数	市の考え方
1	太陽光発電システム、高効率給湯器等の機器の導入に際して、支援（購入補助、税制上の優遇）を行なって欲しい。	4	平成 22 年度より個人向け住宅の太陽光発電システムの設置費用に対し、補助制度を新設する予定です。国・県等の補助金制度につきましても、市ホームページ等で情報提供したいと考えています。
2	「自転車を安全かつ快適に利用できる環境をつくる」事を目的として、市、警察、鉄道、商店、市民、関連団体が役割を明確にして連携する「社会組織の整備」、道路、駐輪場、ロータリー等を整備する「社会資本の整備（ｲﾝﾌﾗ整備）」、子供達や市民を対象とした「条例やルールを遵守するための教育やPR」、「法律、条例、遵守事項等の策定」等を総合的に行う必要があると考える。	1	自転車は温室効果ガスを排出しない環境に優しい乗り物であり、自転車利用を促進することは有効な温暖化対策であると考えています。ご意見に関しては今後の参考とさせていただきます。
3	化石燃料の使用を減らす施策(例えばマイカーから公共交通機関への転換等)を前面に出すべきではないか。	1	本計画は総合的に温室効果ガスを削減していく計画です。化石燃料の使用の抑制、再生可能エネルギーの普及を促進する施策だけでなく、森林保全、緑化、ごみの減量化などについても推進してまいります。
4	再生可能エネルギーとして大気熱の利用を普及すべきではないか。	3	
5	電化住宅への転換を促してはどうか。	2	

項目 4 推進体制と進行管理について

番号	ご意見の概要	件数	市の考え方
1	市の推進体制に兵庫県地球温暖化防止活動推進員の位置付けを行って欲しい。	1	本市ではエココミュニティ会議を環境に関する地域活動の中心と位置づけ、全市的にエココミュニティ会議の設置を呼びかけています。本計画においてもエココミュニティ会議、環境衛生協議会ほか、各種団体を中心に推進してまいります。兵庫県地球温暖化防止活動推進員におかれましては、地域と連携し、専門的知識を活用してご活動いただきたいと考えます。

「持続可能な地域づくりECOプラン - 西宮市地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編） - 」
 について提出されたご意見等の概要とそれに対する市の考え方

項目 5 その他

番号	ご意見の概要	件数	市の考え方
1	小学校などで配布されているエコカードは無駄ではないか。	1	エコカードは子どもだけでなく、大人に対しても環境に対する配慮を気づかせる優れたツールです。エコ活動を実践することにより、地球温暖化防止にも寄与することになります。環境学習都市にのみやを支える重要な取り組みと認識しております。
2	高効率給湯器について、一般的に熱効率換算してCO2の排出量を参考に掲載したほうが、買い換えるときにわかりやすい。	1	今後の参考とさせていただきます。
3	CO2削減の観点からは、省エネも大事ですが、高効率機器や高効率給湯器の普及促進施策がより効果的ではないかと考える。この施策を明確化し推進するため、高効率給湯器の普及目標台数を設定してはどうか。	1	高効率給湯器については、P. 28にあるとおり、2020年度に約7割以上の世帯に導入されていることを目標としています。
4	電力の排出係数は、火力発電所から排出される係数で算定すべきではないか。	1	本計画では環境省発行の策定マニュアル（「地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）策定マニュアル 平成21年6月）に基づいた排出係数を使用しています。